

村政のここが聞きたい！



予算確保で動き出す！村の森林管理計画

大切な村の森林をどう守り、どう活かすのか？

現状を堅持しつつ検討していきます

産業
観光課長

- 問** 森林整備の成果と今後の活用は？
- 答** 村内の森林について所有者の意向を確認し、村が整備すべき森林をデータベース化するにより、令和8年度の森林整備計画を策定できたこと、また専門家の助言を得て、土砂災害やナラ枯れ対策などが成果として上げられます。今後も森林環境譲与税を活用して森林整備を進めてまいります。
- 問** 村有林の間伐計画はどうなっていますか？
- 答** 計画が遅れていた村有林（約267ha）ですが、国からの「森林環境譲与税」により、安定した予算が確保できました。令和8年度から土砂災害防止の森林整備を本格化させるとともに、村の森林経営制度の全体計画の検討に着手する予定です。
- 問** 村の分収林（契約森林）の現状と今後の収益は？
- 答** 昭和からの古い契約はほぼ終了し、残る旧大河南地区（約13ha）も8年度中に今後の方針を検討します。一方、白石地区の県造林（約77ha）では令和8年度から県主体の木の伐採・売払計画があり、その収益の4割が村の歳入になります。

森林環境譲与税とは・・・森林環境税（国内に住所を有する個人に対して課税される国税であり、市町村において個人住民税均等割とあわせて一人年額1000円が課税）を財源に市町村や都道府県へ配分し間伐などの森林整備や人材育成・木材利用の促進・普及啓発などに「森林の整備の促進に関する施策」に使うことが法律で決められているお金。



- 問** 水源地での開発に伴う災害防止のためのルールはありますか？
- 答** 災害防止等のため、1ha超の開発は森林法により県の、1ha以下は東秩父村開発指導要綱により指導・チェックが入ります。万一開発することがあるときは村長が独断で判断せず、透明性を持って庁内で検討してまいります。

高額な倉庫に無駄がありますが

新庁舎建設事業について

関係者による協議の積み重ねの結果です

総務課長



- 問** 新庁舎建設事業に伴い新築された屋外倉庫について、村では設計要件や使用目的を設計業者にどのよう依頼しましたか？
- 答** 単なる倉庫機能にとどまらず、書庫及び車庫としての機能も併せ持つ施設として設計業務委託しました。関係課局と設計業者で協議を重ねて最終的な計画を決定しました。
- 問** 倉庫梁上に設置されている間接照明の目的は、外観上の演出ではなく、主として建物周辺の明るさを確保し、防犯性や安全性を高める目的のものです。
- 問** その結果、駐車場への独立した照明柱の新設を見送ることができ、施工や維持管理の面も含め、合理的な整備方法と判断しました。
- 問** ご答弁の内容とは異なり、以前は、夜間に点灯して細かく施した小屋筋交いを外側に見せるための半透明のポリカーボネート材であり間接照明である、と聞いていたと思います。実際は外観上の演出を主目的とした設計だったのでは。
- 問** 建物周辺と駐車場の明るさを確保し、安全性を高める目的のものです。上向きの間接照明で建物周辺の空中しか明るくできないものを、防犯性や安全性を確保できて照明柱の新設も不要な合理的整備方法とするには無理があるのでは。
- 問** 事業費削減を検討した上で、今のところ改善できるところがあれば改善していきたい。
- 問** 関係課局と設計業者での協議において、人や動物に反応して点灯する器具の採用についての意見は出なかつたでしょうか。
- 答** そういった意見は出たことがありません。
- 問** 関係者の数や会議の回数などは、協議の質や成果とは全く関係ないということですか。発注者である東秩父村は、デザイン優先の設計業者を厚遇し、先々を見据えずに物を建ててしまおうとしていると感じます。倉庫を前例とすれば、新庁舎にも費用対効果の期待できない無駄な部分があれば、これに対する反証はありますか？
- 答** 複数の会議体での度重なる協議の結果の設計ですが、今後、運用面では検討していくことが多くあります。